

所管事項調査に関する資料

(地域おこし協力隊事業の状況について)

目次	ページ
1 地域おこし協力隊の概要 .....	1
2 これまでの隊員の配置状況等 .....	1～2
3 隊員の募集 .....	2～3

南 総 合 事 務 所

北 総 合 事 務 所

令 和 元 年 1 1 月



## 1 地域おこし協力隊の概要

地域おこし協力隊制度は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、3大都市圏をはじめとする都市地域から地域活動に関心のある都市住民を受け入れ、地域協力活動を行いながら、併せて定住定着を図り、地域力の維持強化を行うことを目的に、平成 21 年度に総務省が創設している。

長崎市でも合併地区においては、人口減少、過疎化が著しく進行しており、地域での担い手不足に伴い、自治会活動や祭り等の地域行事の運営も困難な状況にあったことから、地域おこし協力隊員（以下、「隊員」という。）を、地域から強い要望があった高島・野母崎・外海地区に平成 23 年度から、伊王島・琴海地区に平成 24 年度から配置している。

隊員の地域協力活動を行う期間は、総務省の要綱により、おおむね1年以上、最長3年で、その活動に要する経費については、1年度につき1人あたり 400 万円（報酬等上限 200 万円、活動費上限 200 万円）以内の特別交付税措置が講じられており、さらに協力隊最終年次又は任期満了翌年に起業する者に要する経費として1人あたり 100 万円を上限に交付税措置がある。

また、隊員募集に係る経費についても地方自治体1団体あたり 200 万円を上限に交付税措置がある。

## 2 これまでの隊員の配置状況等

本市においては、平成 23 年度から地域おこし協力隊を配置しており、平成 30 年度までに伊王島、高島、野母崎、外海及び琴海地区に、2期6年間で計 10 人の隊員を受け入れた。

隊員は、それぞれの地区で地域行事の支援をはじめ、各隊員のアイデアや特技を活かしながら、担当地区の課題解決や地域の活性化に向けた様々な活動を行い、8人が任期終了後の長崎市内への定住につながっている。

### (1) 配置状況

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
伊王島地区		10月		9月	10月			9月	募 集 中
高島地区	10月			9月	7月		12月		
野母崎地区	10月			9月	7月			6月	
外海地区	10月	池島のみ		8月	10月			9月	
琴海地区		10月			9月	2月		10月	

### (2) 活動状況

地 区	事業実績等
伊王島地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットやイベントによる伊王島の情報発信</li> <li>・伊王島の特徴を考慮した特産品の検討</li> <li>・伊王島地区の緑化促進</li> <li>・地域との交流を目的とした折り紙教室の実施</li> <li>・旧炭鉱資料の調査・保存</li> <li>・地域活性化イベントの企画・調整・実施・支援 (長崎さるく「伊王島コース」新設、観光パンフレットの作成) など</li> </ul>
高島地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高島の風景写真と歴史を盛り込んだ「高島カレンダー」の作成</li> <li>・アニメ、映画のキャラクターになりきる「コスプレイベント」の開催誘致</li> <li>・情報誌等での高島の観光やイベントの情報発信活動</li> <li>・グリーンツーリズム団体の活動支援 など</li> </ul>

地 区	事 業 実 績 等
野母崎地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軍艦島資料館「野母崎情報コーナー」による地域情報発信 (観光、物産、産業、食、イベント、祭、自然、恐竜など)</li> <li>・facebook, SNS を活用した「伊勢エビまつり」や「のもぎき水仙まつり」などの地域情報の発信</li> <li>・野母崎の自然・文化に関連した各種講演会の開催</li> <li>・地域活性化イベント(「樺島灯台ウォーキング」など)の企画・調整・実施・支援</li> <li>・恐竜の化石活用(復元模型制作)</li> <li>・のもぎきいきものずかん作成</li> <li>・ザトウクジラ頭骨発掘展示  など</li> </ul>
外海地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民有志による活性化グループを立ち上げ、甘藷の栽培と加工品の試作を実施</li> <li>・山羊を活用した耕作放棄地の除草作業</li> <li>・各種イベントや地域活性化団体への協力</li> <li>・グリーンツーリズム団体の活動支援</li> <li>・池島地区での有害鳥獣捕獲隊への参加  など</li> </ul>
琴海地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産物を用いた特産品・琴海みやげ等の開発・販売ルートの拡大</li> <li>・「四季彩館」の活用(四季彩館まつり等を通じての魅力発信ほか)</li> <li>・琴海「学さるく」の企画・実施(琴海の歴史・文化・食などの魅力発信)</li> <li>・映像や写真を使った魅力・情報発信  など</li> </ul>

### (3) 任期終了後の動向

地 区	第1期	第2期
伊王島	県外転出	市内居住(起業準備中)
高 島	市内居住(飲食店経営)	市内居住
野母崎	地区内居住(飲食店経営)	地区内居住(起業)
外 海	市内企業就職後、県外転出	地区内居住(起業準備中)
琴 海	地区内居住	市内居住(起業準備中)

### 3 隊員の募集

これまで各地区で活動していた第2期の隊員が、平成30年度途中に全ての地区で活動を終了したことから、全国の隊員募集情報を取りまとめている「移住・交流推進機構(JOIN)」のホームページ等により、第3期の隊員の募集を行っている。

しかしながら、数名の応募があるものの隊員の決定に至らず、その後も随時募集を行っているが、現在のところ全ての地区において未配置の状況である。

#### (1) 応募状況

- 第1回(令和元年5月7日締切) : 3人
- 第2回(令和元年7月25日締切) : 1人
- 第3回(令和元年9月30日締切) : 1人
- 第4回(令和元年12月13日締切) : 現在募集中

(2) 隊員決定までの過程

① 募集

「移住・交流推進機構(JOIN)」のホームページ等により周知



② 一次審査(書類選考)

「合格」の場合、③へ

③ 現地視察

原則、二次審査(面接)前日に、配置予定地の視察や地元関係団体との意見交換会を実施



④ 二次審査(面接)

「合格」の場合、⑤へ

⑤ 業務委託契約締結

契約締結後、配置地区へ移住してもらい、「地域おこし協力隊」としての業務を開始

《参考》 全国の隊員数

(単位:人)

年度	隊員数	実施自治体数	うち都道府県数	うち市町村数
平成21年度	89	31	1	30
平成22年度	257	90	2	88
平成23年度	413	147	3	144
平成24年度	617	207	3	204
平成25年度	978	318	4	314
平成26年度	1,511	444	7	437
平成27年度	2,625	673	9	664
平成28年度	3,978	886	11	875
平成29年度	4,830	997	12	985
平成30年度	5,359	1,061	11	1,050

※総務省の「地域おこし協力隊推進要綱」に基づく隊員数

《参考》 県内の隊員数

(単位:人)

年度	隊員数	実施自治体数
平成23年度	12	4
平成24年度	15	4
平成25年度	33	9
平成26年度	44	11
平成27年度	92	17
平成28年度	90	17
平成29年度	81	17
平成30年度	79	17